

消防団車両・資機材の紹介



消防団には、分団ごとに専用の車両が配備されています。
管轄地域の広さや道路幅など地理的条件に合わせて、
大型のものから軽自動車を改造したものまで様々な種類があります。



消防ポンプ自動車

消防ポンプを搭載しており、
消火栓や防火水槽などから水を引いて放水活動を行います。
車のエンジンでポンプを動かすので、
大量に放水することができます。



小型動力ポンプ積載車

可搬式の消防ポンプを積載する車両です。
ポンプの動力は車のエンジンから独立しているので、
取り外して持ち運ぶことができ、
車が入れない場所でも放水することが可能です。



近年は、オールシャッター型の車両が多くなっています。
これにより、盗難や凍結を防げるほか、
小型・軽量化した資機材を
より多く積載できるようになっています。



消防救急車

ポンプ車の機能と、応急処置対応の医療器具など
救急車の機能を併せ持つ最新型の車両です。
むつ市大畑消防団に配備されています。

消防団では、消火や救助のためにいろいろな車両や機材を使用します。

消防団員は、安全で迅速な救助活動のため、

日頃から車両や機材の取扱い訓練を繰り返しおこなっています。



消防団では、ホースや吸水管、ポンプのほか、
様々な災害に対応できるよう、多様な救助資機材を使用しています。
ここではその一部をご紹介します。



エンジンカッター

金属やコンクリートも切断できるので、鉄の扉やシャッターを開けるときなどに使います。



チェーンソー

樹木や木材を切断する機材。倒木を除去するときなどに使います。



車両固定器具

車両や重量物を安定的に固定し、下にいる人を救出するときなどに使います。



背負式消火水のう

車両が入れない現場などで、水のうを背負い、歩きながら消火することができます。



ホース・管鎗パイプ・ホース巻取

消防用ホースは、高い耐久性と軽量化を両立する特殊な素材、構造でできています。放水するときホースの一番先につけるものを管鎗といいます。



フローティングストレーナー

水深の浅い河川や水底に砂などが堆積しているところでも、水だけを吸い上げ、給水できます。



ボルトクリッパー

鉄線（番線・針金・釘・鉄筋・チェーンなど）を切断するときなどに使います。



鳶口

放水の際に窓ガラスを壊したり、燃えてしまったものをどけるときなどに使います。



携帯用コンクリート破壊器具

重機が入れない場所で使用する手動式の破壊器具です。先端を交換することで、自動車のドアをこじ開けたり、錠前を破壊することもできます。